

科目名	文章表現	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	大沼 志津子		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-A-1-110032		国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々に活かす方途をたえず摸索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること		
授業の目的	本授業では、社会関係構築能力、コミュニケーション力を育成するために必要な基礎的な日本語表現を学ぶ。すなわち、本授業の目的は、自己紹介やノートのとり方から、レポートの書き方に至るまでの、幅広い表現能力を、身につけることにある。具体的には、①テキストで文章の目的を把握し、読み手を想定した上で、②トレーニングシートを用いて作業し、テキストで表現上のポイントを確認する。一斉授業につき、よくある間違いなどをとりあげる方法で、受講生の表現力の向上を図りたい。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的に学ぶ態度を身につけること ・文章の目的、読み手、場に配慮した表現のために以下のことが理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ①読み手、聞き手がイメージしやすいように、具体的に表現する。 ②読み手、聞き手との関係をより良くするために、敬語使用の基礎を理解する。 ③読み手、聞き手にとって、必要な情報を選択することを知る。 ④依頼メールの基本的な作成方法を知る。 ⑤説明の順序を知る。 ⑥文献の調べ方、入手の仕方の基本を知る。 ⑦アンケート調査の基本を知る。 ⑧表や図などの資料から情報を抽出する際に注意する点を理解する。 ⑨視覚資料を作成する際の注意点を知る。 ⑩レポートの調査課題設定の際に考えるべき点を理解する。 ⑪レポートの体裁を知る。 ⑫目的に合わせて志望動機を考えることを理解し、志望動機から面接の質問内容が予想できることを理解する。 ⑬課題型小論文の一つの型を身につける。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	授業説明1／仮名遣い・漢字と送り仮名・記号の使い方
第2回	授業説明2 および第3章「敬語の基礎-基本ルール」
第3回	基礎ドリル1「敬語の語形」/第2章「ノートの書き方」

第4回	第1章 「自己紹介-具体的に話そう」 書き言葉
第5回	第4章 「確実な連絡メモ-5W1Hでチェック」
第6回	第5章 「メールの書き方-依頼メールの基本」 / 基礎ドリル5 「慣用句・ことわざ・四字熟語」
第7回	第6章 「手紙の書き方-書式と基本マナー」 / 基礎ドリル3 「慶事の基礎知識」
第8回	第7章 説明のコツ / 基礎ドリル6 「二義的な文章・悪文訂正」
第9回	第8章・第9章 「大学生の調べ方」
第10回	第10章 「アンケートのとり方-アンケート用紙の三大要素」
第11回	第11章 「資料の読み取り-表・図・グラフから情報を抽出する」
第12回	第12章 「効果的なプレゼンテーション -レジュメ・視覚資料」
第13回	第13章 「堅実なレポートの書き方1 具体的な手順 調査課題の設定」

第14回	第14章「堅実なレポートの書き方2 体裁」基礎ドリル8「原稿用紙・校正記号」
第15回	第18章「小論文の書き方一型を決めて書く」
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	第1回目 2時間 「現代仮名遣い」「送り仮名の付け方」「常用漢字表」を読む。 URL: https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/ki_jun/naikaku/index.html 第2回目 2時間 「敬語の指針」を読む。 URL: https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf 第3回目 2時間 第2回と同じ 第4回目 2時間 話し言葉と書き言葉との違いについて調べる。(授業時に指示) 第5回目 2時間 お知らせの文、伝言文について、インターネットを使って実例を集めて、その特徴を考える。 第6回目 2時間 基礎ドリル5「慣用句・ことわざ・四字熟語」に取り組む。 第7回目 2時間 基礎ドリル3「慶事の基礎知識」に取り組む。 第8回目 2時間 基礎ドリル6「二義的な文章・悪文訂正」に取り組む。 第9回目 2時間 第8章・第9章を読み、実際に調べてみる。 第10回目 2時間 アンケートについて、インターネットを使って実例を集めて、その特徴を考える。 第11回目 2時間 授業時に指示 第12回目 2時間 ユニバーサルデザインについて、インターネットを使って調べる。 第13回目 2時間 大学の卒業生の卒論の題目を調べ、自分の興味のあるテーマをピックアップする。 第14回目 2時間 指示する論文を使って第14章のトレーニングシートに取り組む。 第15回目 2時間 授業時に指示
【復習】時間・内容	各回 2時間 トレーニングシートの解きなおし。資料の不明点を確認する。

成績評価	
評価基準・方法	授業外レポート(70%)、授業参加状況(30%)を合わせて、総合的に評価する。授業外レポートは授業中に指示する。
フィードバック方法	レポート提出後に模範解答、講評をポータルサイトに載せる。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<p>『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』橋本修他編著／株式会社三省堂／2018年第10刷 https://www.sanseido-publ.co.jp/publ/jap_hyoge_training_skillup.html</p> <p>https://www.sanseido-publ.co.jp/publ/jap_hyoge_training_skillup_data/drill_answer.pdf (基礎ドリル解答例URL)</p>
受講上の留意点等	<p>第1回目はシラバスを用意すること。 資料をポータルサイトにアップすることがあるので、その際は事前に印刷して用意すること。 基礎ドリルは自己採点が可能。教科書欄にURLを示した。必ず参照すること。 出席については授業時に指示する。</p>
JABEE	